

あと1ヶ月となりました

今年度も早いもので残り1ヶ月となりました。
この時期は寒暖の差が大きく、体調の管理が難しい日が続きます。
風邪様疾患などに罹らないように、各ご家庭でも感染症に対する予防を引き続きお願いいたします。

卒業式 3月18日

長池小学校の最高学年としてがんばってきた6年生が、3月18日（水）第97回卒業式を迎えます。
6年間、多くの学びを積み重ね、豊かな心とたくましく生きる力が育ってきたように思います。また今年度は、リーダーとして立派にその役割を果たしてきました。卒業生のみんなが、ますます活躍していくことを祈りたいと思います。

♪卒業関連行事♪

《卒業を祝う会》 3月5日（木）5時間目

全校児童で6年生の卒業をお祝いします。お祝いのことばやうた等の出し物が各学年で計画されています。卒業生にとっても、在校生にとっても思い出に残る「卒業を祝う会」にしたいと思います。

《卒業式準備》 3月17日（火）

18日（水）の卒業式にむけて5年生の児童と教職員で、講堂や教室及びその周辺の準備をします。
1～4年生と6年生は、給食を食べて清掃した後、下校（13時35分ごろ）になります。
5年生は準備が終わり次第下校（14時40分ごろ）になります。

下校時刻変更のお知らせ

○3月3日（火）※5年生のみ

2月に行われました総合研究発表会で5年生だけ1時間残って学習しましたので、調整のためこの日の6時間目をカットし、5時間目終了後下校します。

○3月23日（月）修了式・離任式・机椅子移動

この日は、次年度へ向けて、机椅子の移動を4・5年生の児童と教職員で行います。
1～3年生 13時35分ごろ下校
4・5年生 14時40分ごろ下校

3月 生活目標

身のまわりや学校を美しくしよう

3月の行事予定

日	曜	学校の行事など	その他の行事
1	日		
2	月	児童朝会	
3	火	5年生6時間目カット 3年生七輪体験	
4	水	児童集会 委員会活動（最終）	
5	木	卒業を祝う会	
6	金		
7	土		
8	日		
9	月	児童朝会	
10	火	保健調べ ひまわり保護者会 16時～	
11	水	児童集会	
12	木	卒業式予行	就学援助（早期2）申請期限
13	金		（昭和中学校卒業式）
14	土		PTA 役員・実行委員会
15	日		
16	月	児童朝会	
17	火	卒業式前日準備（1～4年生・6年生は13時35分ごろ下校）（5年生は14時40分ごろ下校）	
18	水	卒業式（1～5年生は休み）	
19	木		
20	金	春分の日	
21	土		
22	日		1～3年生 13時35分ごろ 4・5年生は 14時40分ごろ 下校
23	月	修了式・離任式・給食終了 机椅子移動	
24	火	春季休業開始	
25	水		
26	木		
27	金		
28	土		
29	日		
30	月		
31	火		

《4月のおもな行事予定》

4月 6日（月）入学式準備 ※新6年生登校（8時50分～）
4月 7日（火）入学式 ※新6年生担当児童登校（9時）
4月 8日（水）始業式 ※児童登校
8時10分～8時25分
児童下校
11時40分ごろ予定
4月 9日（木）給食開始

少し背伸びした『体験』を

三寒四温という言葉が聞かれるようになりました。今年の冬も厳しい寒さが続いていたので、この言葉を聞くと「ようやく季節が変わるんだなあ」とほっとした気持ちになります。春は、もうすぐそこまで来ているようです。

学校では、インフルエンザの流行により欠席する児童が増えており、休業となる学級もあります。春の到来とともに、一日も早く収束してほしいと願っております。

学校での教育活動の中に、『体験学習』という活動があります。例えば、縦割班での「田辺大根作り」をはじめ、「たこあげ」「七輪を使って餅を焼いて食べる」「テニス体験」「車いす体験」「劇鑑賞」、林間学習で実際に「火を起こす体験」等々、今年もそれぞれの学年で多くの体験学習を実施してきました。学校では、子どもたちが、実際に『体験』しながら気づいたり学んだりする機会を大切にしています。それは、実際に『体験』することで、より多くのことを学べるからだけでなく、『体験』を通じた学びは、その時の感情とともに心や記憶に残りやすく、小学校での貴重な学びの思い出になります。『百聞は一見にしかず』『経験に勝るものなし』といった言葉があるのも納得です。そして、その『体験』の積み重ねは、子どもたちにとって、「やったことがある」という自信や心の余裕につながり、次への意欲や新しい挑戦につながっていくと思います。

ただし、『体験』には、失敗や時には危険を伴うこともあります。子どもたちの失敗の可能性を減らしつつ、いかに安全に多くの『体験』機会を作るかは、学校の教育活動の一大テーマです。

ただ、これまでの自分自身を振り返った時、なんとまあ失敗したことの記憶の多いことか。おそらく人は、うまくいったことよりうまくいかなかったことの方がよく覚えていて、うまくいかなかったことから多くのことに気づいたり学んだりできると思います。最近、子どもに失敗させることをすごく心配される保護者の方が増えているように思います。

「可愛い子には旅をさせよ」「獅子の子落とし」「経験は宝なり」等々、『体験』にまつわる言葉が多くあるのも、『体験』の意義を踏まえてのことでしょう。

子どもたちを育てる上で、歳相応の経験、年齢より少し背伸びした『体験』をたくさんさせてあげることができたらいいなと思います。失敗してもまた挑戦すればいい、次の挑戦に初めの失敗が活かされているとさらにいい。その手伝いができたらいい。うまくいった時は、小さなことでもできたこと、挑戦したことを誉めてあげる…そんな経験がたくさんできたらいいと思います。

長池小学校 高尾 祐彦